

『 評 価 書 』

福島県立福島東高等学校

平成28年2月 学校評議員による評価

学校評議員による評価	学校からのコメント及び次年度に向けての方向性
<p>I 学校における自己評価活動の取組み</p> <p>I. 1 『学校経営・運営ビジョン』と校内組織体制について</p> <p>○文武両道の伝統のもと、適切なビジョンで校内組織体制が成り立っており、東高へ通う生徒の保護者からも各学年で高評価を耳にしている。 ○「文武両道の環境整備」については適切であり、組織的に取り込まれ、積極的に推進されていると感じた。 ○適切に取り組みされている。4つのビジョンを評価する指標となるアンケートの「設問」をさらにわかりやすく提示する方策を考えて欲しい。 ○各項目については概ね達成されている。教職員の中には、未だ反応が鈍いと見受けられる回答結果もある。教職員の回答率100%が望まれる。</p> <p>I. 2 『学校経営・運営ビジョン』の展開と自己評価について</p> <p>○「文武両道」の大きなテーマで学校のカラーが明確となっており、それが浸透している。 ○グラフの傾向が毎年同じような形になっており、自己評価は全体の評価に連動している。 ○個人の思いが学校全体の評価となるので、3年間の評価の推移等を数字として表している点については、学校全体に展開していると考えられる。</p> <p>I. 3 広報とアンケート等について</p> <p>○広報活動（ホームページや東高通信）は好評であり充実している。 ○アンケートの結果についても、公開について学校は責任を持って当たっている。</p> <p>I. 4 取組み状況全体について</p> <p>○アンケート結果を見ても生徒や保護者の満足度は高いと思われる。 ○アンケートの「東高に入ってよかった」の設問について概ね高い評価を得ているが、生徒の評価の推移がやや下がり気味である。 ○必要であれば、その課題を掘り下げて早めの対応ができる環境を整えて欲しい。</p>	<p>○学校経営・運営ビジョン及び組織的な取組を、適切であると評価していただいた。 ○4つのビジョンを評価する指標となるアンケートの設問の文言を工夫し、改善に努めたい。</p> <p>○自己評価が本校の教育活動の改善に結びついているという評価をいただいた。 ○業務を見直したり改善したりする時間を確保し、さらに意欲的に教育活動にあたるよう工夫したい。</p> <p>○今年度ホームページを一新した。 ○HPの更新頻度も昨年度までに比べ大きく向上した。生徒の活動の様子がよく伝わるよう、掲載する情報の質・量をさらに充実させたい。 ○紙媒体とWebのそれぞれの特徴を生かし、保護者に必要な情報がきちんと届くよう工夫したい。</p> <p>○アンケート結果からも、生徒・保護者の満足度が高いとの評価をいただいた。 ○教育目標を達成することが学校の最大の役割である。課題や問題意識を解決・改善するための時間確保に努めたい。</p>
<p>II 自己評価活動と学校評価全体への学校の組織的な取組みとその改善</p> <p>○現時点では「保護者等に学校の活動全体を提示」することが、東高通信や新聞の配布によりある程度できていると思われる。また、ホームページ等を通して生徒の活動や各部活動の大会の結果等を見ることができ、勉強と部活動を両立していることが理解でき、保護者や地域の方々にとって提示できていると感じる。</p> <p>III その他</p> <p>○先生方は、忙しい中、生徒に対し熱心かつ丁寧な指導をしていると思われるが、まずは心身共に健康な状態であることが重要であると考えられる。その上で、様々な課題に対する情報を刷新したり、知識や技能を得られるような研修の機会が補償されることを望む。それが延いては生徒のためになると考える。 ○年2回面接時間を設け、担任と生徒が話す機会を作っているが、折に触れ、声をかけたり相談をしやすい雰囲気作りを努めるとともに、相談の窓口等を保護者に対しても周知した方がよいのではないかと。</p>	<p>○東高通信などの紙媒体やHP等の電子媒体を用いた広報活動を適宜組み合わせながら情報発信に努め、本校の教育活動を提示していきたい。</p> <p>○今後もバランスのとれた教育活動が推進できるよう努める。 ○指摘された点をさらに検討し、本校の教育活動の様子が、保護者や地域の方々によく伝わるよう情報発信を工夫する。</p>